



ドイツ研修を通じて学んだことを発表する高校生たち

### ドイツ研修報告会 まちの良さ再発見

1月25日、第23回欧州視察「ワインとミルクの旅」の報告会が森のこだま館で開催され、葛巻高校の生徒7人を含む11人の参加者が関係者らに研修の成果を発表しました。  
生徒らはドイツの文化を学び、日本の伝統文化を伝えることができた達成感やまちの良さを再発見できたなど、一人ずつ感想を発表しました。参加した保護者は「多くのことを学んできたんだと感じました。本当に貴重な経験になったと思います」と話し、子どもたちの大きな成長を感じた様子でした。

### 春呼ぶ茶屋場えんぶり 伝統の確かな継承披露

茶屋場えんぶり保存会（東春三会長、会員20人）の「門打ち」は2月9日、町内5カ所で行われました。  
五穀豊穡を願って舞う、烏帽子をかぶった3人の踊り手による「舞込み」や祝舞の「大黒舞」などが披露されました。  
赤眞下孝子さん（67歳、茶屋場）は「毎年、楽しみにしています。旧暦の小正月に当たるお日柄がいい日に来てもらうことができ良かったです」と笑顔で話し、穏やかな一年を願っていました。



「松の舞」を踊り確かな継承を披露する本地成雄さん（手前）と太田裕明さん

### くずまき高原のタベ 料理とワインを堪能

㈱岩手くずまきワイン主催の第31回くずまき高原のタベは2月7日、モウモウ館で開催され、町内外からおよそ180人が参加しました。  
会場には同社が製造するワインや地域連携ワインなど約30種類が並んだほか、オリジナルカクテルやノンアルコールワインなど、お酒が苦手な人でも楽しめる飲み物が提供されました。また、ステージ上ではマジックや歌謡ショーが行われ会場に花を添えました。  
参加者たちは、料理との相性を確かめながらさまざまなワインを堪能していました。



オリジナルカクテルなどが楽しめる初登場のカクテルコーナー（写真右側）



鬼と仲良くなった子どもたちと大人気の鬼カレー（円内）

### 五日市保育園で豆まき 優しい鬼と仲良しに

五日市保育園（畑中節代園長囑託員、園児20人）は2月3日、節分に合わせて豆まきを行い子どもたちの元気な声がこだましました。  
手作りの個性あふれる鬼のお面を付けた園児たちは「鬼は外 福は内」と豆まき。ホールに大きな青鬼と赤鬼がやってくると、途端に全速力で逃げ回っていました。最後は優しい鬼だと分かり、一人ずつ握手や抱っこで仲良しに。ほっとした笑顔を見せていました。  
また、昼食は鬼の顔をかたどった鬼カレーが、園児たちの食欲に火をつけていました。

### ※エスディージーズ SDGs でつながる世界 関心と行動の大切さ学ぶ

くずまき環境パートナーシップ主催の「2030 SDGs カードゲーム体験から地球温暖化対策を考える」は1月26日、総合センターで開催され参加した15人がゲームを通じて、一人ひとりの関心と行動が世界の大きな動きにつながることを学びました。  
上方桜咲さん（葛巻高3年）は「世界の状況を安定させるためには、自分優先の行動だけではだめだということを実感。進学先でもSDGsを学ぶので、さまざまな活動に参加して発信していきたいです」と意識を高めていました。



※SDGsとは…国連サミットで採択された「2030年に向けて持続可能な開発のための開発目標」

与えられた目標達成のための最善策を探る参加者たちと講師の高野嘉明さん（円内）



猫柳の形や手触りを確認して俳句を考える子どもたちと講師の齋藤誠子さん（下町）

### 江刈保育園で俳句教室 次々浮かび力作そろろう

1月29日、江刈保育園（中崎廣子園長囑託員、園児21人）で俳句教室が行われ4歳児と5歳児の園児15人が俳句づくりに挑戦しました。  
お題は「雪だるま」と「猫柳」。子どもたちは見たり触れたりした感想を素直に表現。頭をひねっては「考えた！」と次々に手を挙げて発表していました。  
雪だるまが寄り添う絵を見て「おほしさとゆきだるまがダンスしている」と情景を詠んだ下上衣知花ちゃん（5歳）は「楽しかった」とやる気いっぱいに取り組んでいました。